Coverity Connect スナップショット 50209 指摘状況調査レポート

概要

• **調査対象**: スナップショットID 50209

• プロジェクト: GPF_BA

• ストリーム: gpf_baseapp_web_app

• 調査日: 2025年8月6日

接続情報

サーバー: https://sast.kbit-repo.net:443認証: shimatani/COVAUTHKEY (成功)

• プロキシ: bypsproxy.daikin.co.jp:3128

指摘件数サマリー

総件数: 30件

• 新規: 27件

• **トリアージ済み**: 2件

• **除外済み**: 1件

インパクト別分布

| インパクト | 件数 |
|-------|-----|
| 監査 | 17件 |
| 中 | 11件 |
| 高 | 1件 |
| 低 | 1件 |

ステータス別分布

| ステータス | 件数 |
|-----------|-----|
| New | 27件 |
| Triaged | 2件 |
| Dismissed | 1件 |

チェッカー別分布

| チェッカー | 件数 |
|---------------------------|-----|
| ANGULAR_ELEMENT_REFERENCE | 15件 |
| FORWARD_NULL | 9件 |
| DEADCODE | 2件 |
| LOCALSTORAGE_WRITE | 2件 |
| NULL_RETURNS | 2件 |
| SIGMA.hardcoded_secret | 2件 |

トリアージ済み2件の詳細分析

CID 564072

- ファイル: access-levels-view-model.ts:684
- チェッカー: DEADCODE
- **検出期間**: 2024/07/25(スナップショット14782)~ 2025/08/05(スナップショット50209)
- **継続期間**: 約11ヶ月
- 分類: 保留
- アクション: 修正完
- **所有者**: 未設定

CID 564104

- ファイル: package-model.ts:175
- チェッカー: DEADCODE
- **検出期間**: 2024/07/25 (スナップショット14782) ~ 2025/08/05 (スナップショット50209)
- **継続期間**: 約11ヶ月
- 分類: バグ
- **アクション**: 修正完
- **所有者**: 未設定

分析結果

主な所見

- 1. 長期間継続している指摘: トリアージ済みの2件は両方とも約11ヶ月間継続
- 2. **ANGULAR_ELEMENT_REFERENCE中心**: 全体の50%(15/30件)がANGULAR_ELEMENT_REFERENCEチェッカーによる指摘
- 3. FORWARD_NULL指摘が多数: 9件のFORWARD_NULL指摘が存在
- 4. **DEADCODEは限定的**: DEADCODE指摘は2件のみで、両方ともトリアージ済み

トリアージ状況について

- CID 564072, 564104は両方とも「修正完」のアクションが設定されており、Triagedステータスで管理されている
- Coverity状態定義(マニュアルより):
 - トリアージ済み: [保留] または [バグ]、[未テスト] として分類される問題

- · 新規: [未分類] として分類される問題
- **対象外**: [意図的] または [誤検知]、[テスト不要]、[外部でテスト済] として分類される問題
- 修正済み: 最新のスナップショットでは発生していない問題に自動割り当てされる状態

現状分析:

- **CID 564072**: 分類が「保留」のため、正常にTriagedステータスとなっているが、「修正完」アクション実行済みにも関わらず「保留」分類のままであり、「バグ」への分類更新漏れやレビュー・承認プロセスが残っている可能性がある
- o CID 564104: 分類が「バグ」のため、正常にTriagedステータスとなっている
- 両方とも「修正完」アクション実行済みだが、最新スナップショットにまだ存在するため「修正済み」状態には自動変更されていない

推奨アクション

- 1. ANGULAR_ELEMENT_REFERENCE指摘の優先対応: 最多の15件について影響度を評価
- 2. FORWARD NULL指摘の調査: 9件の指摘について潜在的なnull参照リスクを確認
- 3. トリアージ済み指摘の最終確認: 修正完とマークされた2件の最終承認・クローズ処理
- 4. **セキュリティ関連指摘の対応**: SIGMA.hardcoded_secret 2件の優先対応

次のステップ

- 1. ANGULAR_ELEMENT_REFERENCE指摘の影響度評価と対応優先度決定
- 2. FORWARD NULL指摘のnull安全性確認
- 3. トリアージ済み指摘の最終承認プロセス実施
- 4. セキュリティ関連指摘(hardcoded secret)の即座対応

レポート生成日時: 2025年8月6日 調査ツール: Coverity Connect MCP Server